

平成 28 年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①国際理解教育のさらなる充実。 ②基礎学力の定着と応用力の伸長。	①国際理解を深めるための学習の機会を最大限増やす。 ②基礎力の定着と応用力の伸長を目指した授業研究を充実させる。	①留学生を積極的に受け入れ、相互の学習の機会を増やす。 ②基礎力の定着と応用力の伸長についての効果的な授業方法等の研究を進め、各教科での教材や授業方法の共有化を推進する。	①留学生との交流会及び姉妹校交流を前年比3回以上多く実施したか。 ②テーマに沿った授業研究協議を3回以上実施、職員全体での研修会を1回以上実施したか。					
2	生徒指導・支援	①社会的自立と社会性の育成。 ②豊かな人間性を培い、社会に貢献できる人材の育成。	①磯子モラル(社会人として求められる行動)を定着させる。 ②生徒主体の学校行事運営によるリーダーシップを育成する。 ③部活加入者の増加と活性化を図る。	①服装指導や頭髪指導を徹底する。 ②挨拶の励行や、言葉遣い、礼儀に対する意識を高めるよう支援する。 ③行事の運営にあたり生徒の自主的な活動を促し、より活発な活動を引き出す。 ④部活動の環境を整え、充実した活動が持続できるよう支援する。	①特別指導の件数を前年比15%以上の減となったか。 ②近隣住民等からの苦情件数が前年比15%以上減となったか。 ③部長会等においてリーダーシップ教育を実施したか。 ④部活動継続率が50%以上であったか。					
3	進路指導・支援	①自己のより高い進路実現にチャレンジする生徒の育成。 ②職業的自立と将来を見据えたキャリア教育の充実。	①生徒一人ひとりの現状を把握し、より高い目標設定ができる進路支援を行う。 ②自己理解と適正を踏まえた職業観を育成する。	①進路相談や外部業者を活用したガイダンスを実施する。 ②総合的な学習の時間やキャリアガイダンスを通して将来を見据えた職業観を育成する。	①ガイダンス・進路相談を各2回以上実施したか。 ②仕事の学び場、インターンシップ等の参加者が前年比3名以上増えたか。					
4	地域等との協働	①地域に根ざした学校を目指し、双方の教育力の最大限の活用。 ②地域防災との連携推進。	①地域へ本校の教育力を還元できる機会を充実させる。 ②地域と連携した防災に係る職員の意識を高める。	①公開講座を実施し、教育力の発信を行う。 ②地域でのボランティア活動に積極的に参加できる体制を整える。 ③防災訓練への取組に地域の視点を加え、より現実に即した内容のものとする。	①公開講座を実施したか。 ②ボランティア参加者が前年比10名以上増えたか。 ③地域からの防災に係る要望を新たに受け入れたか。					
5	学校管理 学校運営	①事故・不祥事ゼロの実現。 ②再編・統合及び完校に向けた取組の推進。	①不祥事防止に対する研修会の充実を図り、職員の意識を高める。 ②40周年記念事業実施に向け、完校を視野に入れた取組を推進させる。	①研修会を通じ、危機管理能力の涵養を図る。 ②生徒・職員のアイデアを反映させた式典の準備。	①全体研修会を実施し、不祥事ゼロ目標を達成したか。 ②生徒・職員のアイデアを反映させることができたか。					